

筑波大学体育会ワンダーフォーゲルクラブ  
 山行報告書〈party wandering〉  
 山行名：「ドキドキ☆はじめてのすのーしゅーいんぐ」

山行名：ドキドキ☆はじめてのすのーしゅーいんぐ			
山城：日光白根山（七色平）			
日程：2008年3月30日（日）日帰り			
C.L.：佐々木（3年）			
メンバー：高須（1年）、奥村（1年）、吉川（3年）			
日時	場所	天候	状況・判断
<b>3/28（金）</b>			天候不良の予報のためスライドが決定。
<b>3/30（日）</b>			
2:00	つくば 発	快晴	
6:45	丸沼高原スキー場	↓	雪はなし。奥村と交代で銀河車でアプローチ。 ストックは部室から持参。
8:30			スノーシューをレンタル（1500円）。通常の登山靴でいける。各自靴にスノーシューを合わせてからレンタルをする。登山届をスキー場で提出。
9:12/9:30	ロープウェー山頂駅		ロープウェーは片道1200円で往復できる。終点で係員の人に帰りも使いたいということを伝えておく。 積雪量は少なめで融け始めている、前日に5cmほどの降雪があったと思われる。
10:07/14:00	七色平	快晴/ 曇 ↓	道はトレースがついていたため分かりやすかった。ガイドブックのコースタイムが1時間50分だったが、実際は37分であった。今後コースタイムを設定するときは、多少短めに設定してもいいのではないかと思う。 七色平で雪像を作ったり、昼ごはんを作ったり、散策したりして遊ぶ。
14:54	六地藏	雪 ↓	途中道に迷う。ルーファイは少し難しい。沢のトレースを見つけたらすぐに入るのがよい。 六地藏には雪で埋まって何もなかった。
15:15	山頂駅		途中、スノーシューツアーの20人弱の団体と遭遇した。

アプローチ： つくば⇔国125⇔国294⇔国50⇔国17⇔国120⇔丸沼高原スキー場【一般道のみ】
反省、感想、今後の課題など： ○吉川 ・初めての冬山・スノーシューだったが、とても楽しかった。スノーシューならば冬研でなくてもできると思う。 ・天候がよくて何より。スライドは正解だった。

- ・1年生が先頭を切ってルーフアイをしていて頼もしかった。
  - ・スノーシューによって冬研でなくても冬山の様子が少し分かるようになった。  
⇒スノーソー、スコップ、ビーコンなどの使い方
  - ・スノーシューの使い方をもっと勉強したい。
- 奥村
- ・他の用事があり、ギリギリの予定で参加した。  
⇒計画的に下界の用事は済ませておくべき。
  - ・気象台は24時間人がいるのを始めて知った。  
⇒最新の情報に更新される17時以降に情報を聞くのがいい。
  - ・冬研の冬山と違って、とても楽しかった。「冬山で遊べる」ことを始めて知った。
  - ・スノーシューはしきいが低くてとてもやりやすい分野。  
⇒今後もワンゲルとして続けていきたい。
- 高須
- ・深夜発はつらい。  
⇒ドライバーが運転中に眠くならない状態で運転できるように調節すべき。
  - ・スノーシューを实际使うことで役目を実感した。  
⇒多少、予習をしてから山行に望むのがよい。
  - ・帰りの読図を失敗してしまった。冬山のルーフアイは難しい。
  - ・荷物が軽く体力もあったので、落ち着いて赤ペンキを探すことができた。
  - ・スノーシューをもっと宣伝して、2・3年生を勧誘したい。
- 佐々木
- ・ガイドブックと実際のコースタイムに大きな差がある。  
⇒実際の地形図と照らし合わせながら、多少コースタイム設定を短めにしてもいいと思う。
  - ・スノーシューは独特の歩き方が必要になる。  
⇒下りのスノーシューはグリップが効かない。クランポンがついているが完全に頼ることはできない。  
山用スノーシューであれば違うのかも。
  - ・当初、研究班の設立を考えていたが、1年目はまず多くの人にスノーシューを体験してもらうことに専念すべき。
  - ・今回は比較的雪が少なかったため、次回以降は雪の多いところへ行って雪洞作りなどをやりたい。